

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公表番号】特表2010-532416(P2010-532416A)

【公表日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-040

【出願番号】特願2010-515162(P2010-515162)

【国際特許分類】

C 08 J 7/12 (2006.01)

D 06 M 13/48 (2006.01)

【F I】

C 08 J 7/12 C E P Z

C 08 J 7/12 C E R

C 08 J 7/12 C E Z

C 08 J 7/12 C F J

D 06 M 13/48

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月8日(2011.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

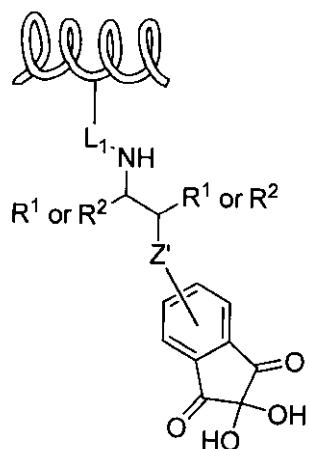
【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つ以上のペンダント反応基を有するベースポリマーと、共反応基を有する呈色指示薬との反応生成物を含み、前記ペンダント反応基が前記ベースポリマーに共有結合しており、前記反応基が前記共反応基と共有結合しており、前記呈色指示薬がタンパク質に応答して変色し、前記ベースポリマーの前記反応基が、アジリジン基、エポキシ基、ヒドロキシル基、及びアルケン基からなる群から選択され、前記呈色指示薬の前記共反応基が、前記反応基と共有結合することができるヒドロキシル基、カルボキシル基、脂肪族アルコール基、アルケン基、アクリレート基、メタクリレート基、及びアルキン基からなる群から選択される、官能性ポリマー。

【請求項2】

## 【化1】



を含み、

前記ベースポリマーが、任意の連結基  $\text{L}_1$  を含み、

$\text{R}^1$  が、H 又は C 1 ~ C 4 アルキル基類であり、

$\text{R}^2$  が、H 又は C 1 ~ C 4 アルキル基類であり、

$\text{Z}'$  が、結合した前記共反応基である、請求項 1 に記載の官能性ポリマー。

## 【請求項 3】

反応基を含むフィルム形成又は繊維形成ポリマーと、

共反応基を含む呈色指示薬と、

を含み、前記呈色指示薬の前記共反応基が、前記ポリマーの反応基と共有結合しており、前記呈色指示薬がタンパク質に応答して変色する、物品。